

4-1. 水素の貯蔵・輸送段階 ～水素の貯蔵・輸送～

- 大量かつ様々な場所での水素需要に応えるためには、1ヵ所で大量の水素を集中的に製造するオフサイト方式が主流になると考えられる。このようなオフサイト方式では、製造した水素をどう貯蔵し、輸送するかが課題。
- 貯蔵・輸送が容易になれば、これまで輸送の困難さから本格的に利用されてこなかった褐炭、再生可能エネルギーによって製造される電力等、これまで日本に輸入されてこなかったエネルギーを水素に転換し、エネルギーの貯蔵・輸送を行うことも検討されている。

水素の製造・貯蔵・輸送・利用に係る将来イメージ

